医療と介護。そして、その未来へ。

せいすい

ご自由にお持ちください

Medical & Nursing care. Leading toward the future. SEISUI

2026.01. Vol.45



Contents

02 | 社会福祉法人 清水福祉会 理事長　年頭のごあいさつ
03 | 市民公開講座を開催
04~05 | お祭りから広がる地域交流の輪
06 | メディア掲載情報
07 | カレンダーを作成しました / カラダが喜ぶレシピ紹介

Seisuikai Group 50th

表紙写真 / 長野県 諏訪大社にて
撮影：もりぐち清水会病院　山内康雄 Dr

年頭のごあいさつ



社会福祉法人 清水福祉会 理事長
水野 智志
Mizuno Satoshi

2026年の年頭を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界に目を向ければ依然として地政学的な緊張が続き、経済構造の変革が求められる時代となりました。国内においては、超高齢化社会を背景とした「2025年問題」により、社会保障制度の持続可能性という大きな課題が顕在化しました。こうしたなか、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げて開催された大阪・関西万博は、世界中の文化や技術が一堂に会し、私たちに未来社会の希望を提示してくれました。

さて、私たち清水会グループが掲げる未来像は、「地域に溶け込む清水会」です。昨年の私たちの活動は事業所内の枠に留まらず、特に地域住民の皆さまとの「つながり」を深める一年となりました。5月と10月には健康支援の観点から「グラウンド・ゴルフ大会」を守口市老人クラブ連合会と共催させていただき、12月には地域の将来を担う子どもたちの育成に貢献すべく、「キッズスマイルフェスタ」という小学生サッカー大会を主催しました。これらのイベントに、大変多くの地域の方々にご参加、ご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。イベントをきっかけに、地域の皆さまにとって当グループが身近な存在として、少しずつではありますが地域に溶け込んでいくことを実感し、嬉しく思っております。

本年、清水会グループは、この「つながり」をさらに発展させるべく、地域に密着したイベント開催などの取り組みを積極的に推進してまいります。私たちが地域社会の一員として何が求められ、何ができるのか、地域の皆さまと直接触れ合い、貴重な声をうかがいながら、より深い連携やより開かれた事業運営を目指してまいります。同時に、行政と締結した協定に基づく連携をより一層密にし、地域の医療・介護分野における貢献に努めます。

皆さまの思い描く未来社会に清水会グループが不可欠な存在となるよう、医療・介護に携わるものとしての責務を果たすとともに、私たちは地域の皆さまにとっての「安心のよりどころ」となりたいと願っています。

本年も、皆さまからの変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆さまの健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

市民公開講座を開催

森小路清水会クリニック
～体にやさしい、適塩生活のすすめ～

2025年10月31日、大阪市旭区の古市会館にて、森小路清水会クリニックが市民公開講座を開きました。
体に必須でありながら、日本人の多くが過剰摂取しがちといわれる「塩分」。今回の市民公開講座では、『体にやさしい、適塩生活のすすめ』と題し、管理栄養士の目線から食事における塩分に焦点を当てました。参加者の皆さまは、意外と知らない調味料ごとの塩分量や減塩テクニックなどをクイズ形式で楽しみながら学び、無理のない適塩生活のための理解を深めていただくことができました。
講義を担当した田中管理栄養士は、「透析治療に関わる中で、塩分の過剰摂取が腎臓に大きな負担をかけることを皆さんに知っていただきたいと思っています。今回の講座をきっかけに適塩生活を心がけ、ご自身の体をいたわってほしいと願っています。」と話しました。
参加者からは、「塩分調整の方法が具体的に分かり、とても参考になりました。」との声をいただきました。この講座が皆さまの健康維持の一助になれば幸いです。



市民公開講座の会場「古市会館」



田中管理栄養士（左上女性）。かみ砕いた内容が好評だった。

もりぐち清水会病院
～糖尿病予防・改善のための基礎知識と運動～

2025年11月21日、もりぐち清水会病院にて、「糖尿病の基礎知識」「糖尿病予防・改善のための運動」の二つをテーマに、糖尿病教室を開催しました。
まず糖尿病療養指導士の吉田看護師が登壇しました。一般的に「糖尿病＝生活習慣病」というイメージが強いですが、単に日々の生活習慣だけで引き起こされるのではないこと、糖尿病によって引き起こされる種々の合併症が生活の質を落とすことなど、糖尿病の基礎知識をわかりやすく説明しました。
続いて、運動については竹田理学療法士が担当し、糖尿病の予防・改善における運動の役割、なぜ運動が有効なのか、運動の注意点、さらに特別な器具を用いずに日常に取り入れることができる運動の方法を紹介しました。
糖尿病は体質によって罹患の可能性が左右される一方で、日々の生活を工夫することで、その予防・改善が見込める側面もあります。紹介がありました運動などを日常生活に取り入れて健康な生活の一助となれば幸いです。
次回の糖尿病教室は下記の通り実施いたしますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

テーマ 「食事療法と薬物療法」
開催日時 2026年1月23日（金）13：30～
お申込み 06-6997-0101

詳細はこちらからご確認ください▶



吉田看護師（右側女性）が糖尿病の基礎を説明した。


竹田理学療法士（中央男性）は、無理のない運動などを紹介した。

流の輪

2025年も、清水会グループはお祭りを通して多くの方々と交流の機会を持つことができました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。ここで、お祭りの様子をご紹介します。

10月 グラウンド・ゴルフ大会

10月29日、「第2回グラウンド・ゴルフ大会」を、第1回に引き続き守口市老人クラブ連合会と共催しました。
今回は地域交流をさらに深めることを目的に、清水会グループ職員も参加し、グラウンド・ゴルフを体験しました。初めてクラブを握る職員は、「ボールを打つ力加減がなかなか難しい」と感じながらも、チームメンバーにやさしく教えていただき、競技を楽しみました。
また、今大会でも紙幣勘定体験ブースや健康チェックブースなどをご提供いただく形で、地元事業者さまにもご協力いただき、会場は終始にぎわいました。
閉会式では、水野郁子理事長が女子の部で優勝した岩橋さまに表彰状と副賞をお渡しし、本大会成功への感謝と次回開催への意欲を語り、盛況のうちに第2回グラウンド・ゴルフ大会は幕を閉じました。



職員も一緒に交流を深めました。


岩橋さまに表彰状と副賞を授与しました。

12月 キッズスマイルフェスタ

12月13日、「キッズスマイルフェスタ」を開催しました。当グループが地域のお子さまを主たる対象としてイベントを開催したのは初めてのことです。開催にあたり、守口市から協賛をいただき、FCティアモ枚方と共催いたしました。
本イベントは「サッカー大会×医療・福祉」をコンセプトとし、守口市、門真市、枚方市で活動する8チームが出場した小学生サッカー大会をメインプログラムとして実施しました。その他、スポーツをする上で役に立つ医療専門職のブースや金魚すくいなどの出店、「みるらメロンパン」の販売など、親子で楽しめて役に立つイベントとなりました。運営にあたっては、大阪産業大学男子バスケットボール部、大阪信愛学院大学男子サッカー部、大阪国際高校の学生ボランティアの方々にもご協力いただき、有意義な地域交流の場ともすることができました。
今後も「地域に溶け込む清水会」として、イベントの開催などを通じて地域交流の輪を広げ、地域社会の発展に寄与いたします。


開会式にて。多くの方にご参加いただきました。


体と体がぶつかり合う激しい試合

お祭りから広がる地域交

9・10月 清水会グループ 秋祭り!（あきまつり）


多くの子どもたちで大盛況!




みんなが楽しめる曲を演奏してくれました。


千本引き、なにがあたるかな?

このたび、毎年恒例の清水会グループ秋祭りを、各事業所で開催しました。医療・介護業界は、コロナ禍の影響下からいまだ完全に脱したとは言えませんが、今期はようやく以前と同じように全事業所での開催が叶いました。

地域に開放し入場自由とした事業所には、予想を上回る多くの方々にご来場いただきました。中でも、普段あまり接する機会のない大勢のお子さまの笑顔を見ることができ、患者さま・利用者さま・職員一同、大きな元気をもらうことができました。

来年度も同時期に開催する予定ですので、ぜひお越しください。

EVENT REPORT

11月 守口市民まつり



日本生命の皆さまと参加しました。




健康チェックに興味津々

11月2日に開催された「もりぐち市民まつり」に参加しました。「もりぐち市民まつり」は、守口市の振興の一環として開催されており、清水会グループも例年参加しています。

今回は、もりぐち清水会病院と日本生命様とのコラボブースとして、市民の皆さまの健康管理のきっかけとなるよう、骨密度測定、アルコールパッチテスト、ベジチェック（野菜摂取量測定）といった企画をご用意しました。「お酒弱いみたいやから控えなあかんな」「骨密度いっかい知りたかってん!」といった声が聞かれ、多くの関心をお寄せいただくことができました。

清水会ブースは終始行列が絶えない人気ブースの一つとなり、私たち職員も予想以上の盛況ぶりに、慌ただしくも大変充実した一日となりました。

メディア掲載情報

シルバー産業新聞

介護老人保健施設おひさま園が、シルバー産業新聞に「ＬＩＦＥフィードバックの活かし方」と題する記事で取り上げていただきました。

ＬＩＦＥとは、厚生労働省が運用する「科学的介護情報システム」の名称です。医療ではすでに取り入れられている「科学的根拠」を、介護にも導入し、介護事業所が科学的根拠に基づいた質の高い介護の提供ができるように２０２１年度から運用が開始されました。

当園は超強化型老健として、利用者さまの在宅復帰を多面的にサポートしていますが、在宅復帰の一つの壁となるのが排泄ケアです。おひさま園は、ＬＩＦＥから提供される※フィードバックを活用し、排泄ケアにおける課題を抽出し、園内に設けた排泄委員会で課題の検討・ケア方針の決定などを行っています。フィードバック情報を活用している事業所はまだ少なく、今回、フィードバック情報の活かし方の一例としてシルバー産業新聞に取り上げていただきました。

東事務長は、「シルバー産業新聞に取り上げていただきましたが、データの活用は取り組み始めたばかりです。まだ手探りな部分はありますが、ＬＩＦＥのフィードバックに限らず、データの活用を進め、利用者さまに質の高いサービスを提供します。」と話していました。

※全国の介護事業所から集めた利用者の状態やケア状況を分析・評価したデータのこと。



辰巳介護科長（左）と東事務長（右）



取材では、おひさま園の取り組みや思いを語った。

リハビリナース

心の回復と、その人らしさを取り戻す

リハビリ看護の専門誌『リハビリナース』に、もりぐち清水会病院　回復期リハビリテーション認定看護師である高島主任の記事が掲載されました。

回復期病棟に10年勤務する高島主任が、患者さまのケアや退院支援において大切にしていることを述べています。一つは、身体機能の回復だけに目を向けるのではなく、再び生活動作を取り戻すための支援や、障害受容を支えていくということです。患者さまが障害を受容するということは大変なことです。だからこそ「それでも生きていける」と自信をもって退院できるよう心の支援を大切にしています。

もう一つは、医療者だけではなく、患者さまとご家族も含んで「生活の再構築に向けてＯＮＥチームで取り組むこと」です。特に介護をするご家族の負担にも焦点を当て、双方が「自分らしさ」を大切にし、人生を歩んでいけるよう、多職種で支援することです。

高島主任は、「回復期リハ看護はむずかしくもありますが、おもしろくて、やりがいもあります」と語り、今後も回復期リハビリテーション認定看護師として最善を尽くし、患者さまが「その人らしい生活の場」に戻っていけるよう支援していきたいと語っています。



高島主任。患者さまの在宅復帰に日々奮闘している。

2026年カレンダーが完成しました!



昨年開催した「2026年カレンダー写真コンテスト」には、前回に引き続き**500枚以上**もの写真をご応募いただくことができました。たくさんのご応募ありがとうございました。

2026年カレンダーに掲載する写真は投票にて選出され、無事に2026年カレンダーが完成いたしました。
ご応募いただいた皆さまには感謝を込めて、完成した2026年カレンダーをお送りさせていただきました。写真に切り取られた風景や撮影者さまの日常を月替わりでお楽しみいただければ幸いです。
完成したカレンダーはホームページにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。

HPで公開中▶
https://www.seisuikai.net/news/detail.php?id=162



レシピ紹介コーナー

栄養課

今回の献立

焼き芋ポタージュ



サツマイモには、食物繊維、ビタミンC、ビタミンE、カリウムなどが含まれており、腸内環境の改善、美肌効果、高血圧予防などの効果が期待できます。また、肌のハリや弾力を保つコラーゲンを作るためには、タンパク質とビタミンCが不可欠です。このスープには牛乳のタンパク質とサツマイモのビタミンCを一緒に摂ることができます。

鶴見緑地苑
管理栄養士
西山 典代
Nishiyama Fumiyo

作り方

1. 焼き芋は皮をむき、端を切り落とし一口大に切る
2. ボウルに焼き芋を入れ、フォークで粗めにつぶす
3. 玉ねぎは皮をむき、薄くスライスする
4. 鍋にバターを入れて中火で熱し、スライスした玉ねぎを加えて透き通るまで炒める
5. ④の鍋につぶした焼き芋を加えて、バターが馴染むまで炒める
6. ⑤の鍋に水・コンソメを加えて蓋をし、弱火で5分ほど煮て、荒熱をとる
7. ⑥をミキサーに入れてなめらかにする
   （※ミキサーが回りにくい場合は、牛乳を少し加えてください）
8. なめらかにした⑦を鍋に戻し入れ、牛乳・塩を加えて弱火で温める
9. 器に盛り、パセリをちらす



ご用意いただく材料

（2人分）

- 焼き芋（サツマイモ）…… 300g
- 玉ねぎ …… 1/2個
- コンソメ顆粒 …… 小さじ1/2
- 水 …… 100cc
- 牛乳 …… 300cc
- 塩 …… 小さじ1/3
- 有塩バター …… 20g
- パセリ（刻み）…… 少々

清水会グループ

WEBで情報発信中

携帯電話で
二次元コードを
読み取って
ご覧いただけます

清水会
ホーム
ページ

採用特設
ページ

インスタ
グラム

ご案内図



医療法人 清水会（せいすいかい）

ミズノ胃腸科・内科・整形外科

A 〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31 ☎06-6952-5058

もりぐち清水会病院

B 〒570-0038 守口市河原町3-12 ☎06-6997-0101

介護老人保健施設 おひさま園

C 〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21 ☎06-6952-0101

森小路清水会クリニック

D 〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-24 ☎06-6958-7070

トム・ソーヤ訪問看護ステーション

E 〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31 ☎06-6956-0505

もりぐち清水会病院 橋波リハビリセンター

F 〒570-0039 守口市橋波西之町2-4-19 ☎06-6991-0030

門真クリニック あいわ診療所

G 〒571-0048 門真市新橋町2-12 ☎06-6908-0721

社会福祉法人 清水福祉会（しみずふくしかい）

特別養護老人ホーム 養護老人ホーム 旭さくら苑

H 〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-23 ☎06-6957-8008

ケアハウス鶴見緑地

I 〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-16 ☎06-6998-3003

特別養護老人ホーム 城東こすもす苑

J 〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-2-38 ☎06-6933-2002

特別養護老人ホーム 鶴見緑地苑

K 〒570-0032 守口市菊水通3-16-2 ☎06-6995-5005

サービス付き高齢者向け住宅 さくら

L 〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31 ☎06-6958-7007

介護付き有料老人ホーム 鶴見緑地

M 〒570-0043 守口市南寺方東通1-1-31 ☎06-6997-9009

特別養護老人ホーム 城東さくら苑

N 〒536-0004 大阪市城東区今福西6-6-20 ☎06-6939-7000

私たちは、スポンサー活動を通じて地域社会への貢献を推進しています。

FC TIAMO HIRAKATA
清水会グループはＦＣティアモ枚方の
オフィシャルゴールドスポンサーです。

OSAKA SANGYO UNIV. CORN HUSKERS
大阪産業大学体育会
男子バスケットボール部